



2

今年の調査結果をまとめました



吉野川の水質(COD)

- 吉野川では、呼びかけ機関の公定分析法の結果が約2.1mg/l、みなさんのバックテストの結果は約3.8mg/lでした。



一般的に、バックテストの結果は公定分析法に比べて高くなる傾向があり、今回もその傾向が見られました。みなさんの結果より1~2mg/l低い値が、実際のCODの値とと考えてください。



- 吉野川のCODの平年値(※)は1.5mg/l程度で、今回の結果は平年値よりやや大きくなりました。



原因として、CODの値は夏が1年の中でも高い傾向にあること、水量が少ないことなどが考えられます。



※平年値とは、吉野川の環境基準点(大川橋、高瀬橋)における20年間(1985年~2004年)のCODを平均した値です。

公定分析値とくらべてバックテストの値は高くなる傾向があります

公定分析法とは、専門知識をもった技術者が高度な分析機器をつかって分析する方法です。

みなさんがおこなったバックテストは簡易測定法と呼ばれ、だれでもどこでもできる方法です。しかし、バックテストは、水温や測定時間、チューブに吸いあげる水の量によって結果にバラツキがでたり、人によって色の判断基準が異なる場合があります。



CODの値は夏が1年の中でも高い傾向にあります

CODの値が夏に高くなる原因の一つとして、藻類などによる生物活動の影響が考えられます。

水温が高くなる夏には、藻類などによって光合成がさかんになります。これにともなって小さな藻などが増えて水中に浮遊します。このため、CODの値が高くなることが考えられます。

くわしいデータを知りたい場合は、詳細編(28ページ)をごらんください。

川の状況

- ・今年、4月からの少雨の影響で全体的に川の水が少なく、みなさんの結果にも「ふだんよりも水が少ない」との報告が多くみられました。



流域の上・下流

- ・上流に比べると下流の方が、CODは高い傾向にありました。
- ・上流の川でふだんより水が少なく、これまでの調査結果に比べてCODが高い傾向にありました。



気づいたこと

- ・川や川原にゴミが捨てられている、との報告が多くみられました。
- ・流域のみなさんの清掃活動によって、過去の調査の時よりゴミは少なくなっているとの報告もありました。



その他・・・

- ・水質は日時、季節などによっても変化します。あまったパックテストがあれば、いろいろな条件で調査してみてください。
- ・今後も吉野川流域一斉水質調査を継続して実施していく予定です。



いろんな生き物もいたよ！

